

事業名称		達成状況の評価
事業名	道路改築事業	A
整理番号	26-1	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	佐久市	
箇所名	下小田切	
事業年度	平成25年度～平成30年度	
		配慮した項目 27 = 100%
		配慮する全項目 27
事業概要		
目的	「一般県道 上小田切臼田(停)線」は、佐久市臼田地域において、旧臼田町中心部と上小田切～下小田切地区を結ぶ、生活道路である。 国土交通省により整備中の中部横断自動車道の開通によりこの路線と交差する位置に開設される(仮称)臼田ICにより、当該路線はICから国道141号を結ぶアクセス道路としての機能が要求される。従来路線は未改良区間も多く、人家連担地域を通過するため、下小田切地区にバイパスを整備し、生活道路としての従来機能とアクセス道路機能を併せ持つ道路とする。	
事業概要	全体計画L=1340m W=6.5(14.5)m	
関連する事業計画	中部横断自動車道	
その他特記事項	特記事項なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実施
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実施
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
	【悪臭の防止】	
・想定される影響はない。		
水環境	【水質汚濁の防止】	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	適正に実施
	【水循環の保全】	
・水田や地下水・湧水を保全する。	適正に実施	
地形・地質	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【改変面積の最小化】	
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施	

野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	適正に実施
	・水路工については、ホタルが生息できる護岸とする。	適正に実施
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。	適正に実施	
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討する。	適正に実施	
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	適正に実施
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	【良好な景観の育成】	
・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施	
自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。	適正に実施	
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
	【エネルギーの有効利用】	
	・想定される影響はない。	
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
・想定される影響はない		